

れん

富山市PTA連絡協議会広報紙 第97号

平成29年度 市Pe連会長は

誰だ？

次ページへ

平成29年度定期総会 P2

広報実技研修会／会長情報交換会 P3

特集 親学びってなんだろう？ ... P4・5

単位PTAこんなことやってます！..... P6・7

28年度表彰者／県P広報紙コンクール受賞 P8



富山市P連新会長は!!

体は小さいが期待大!
小さな巨人!!



河上さん だぞ!!



富山市PTA連絡協議会総会

スローガン
手を携え
みんなであつなぐ
PTAの絆

すべては子供たちの未来のために

重点実施項目

- 会員同士の繋がり強化
- 単位PTAとの繋がり強化
- 関連団体との繋がり強化
- 情報収集と情報発信の強化

河上会長を支える5人の委員長

総務企画委員会

川波 総務企画委員長
組織全体に関する事項や関係機関との連絡調整と懇談会などの開催を担当(要望書の作成と提出)



会長支援委員会

江川 会長支援委員長
単位PTAの活動支援を担当(単位PTA会長同士の交流を促進し、お互いの繋がりを強化)



広報委員会

宮村 広報委員長
富山市P連と単位PTAとの情報交換、情報発信や広報紙の作成・発行のための研修会を担当



2020年日本PTA全国研究大会 富山大会準備委員会

米本 全国大会準備委員長
2020年日本PTA全国研究大会富山大会のための準備を担当



家庭教育委員会

室 家庭教育委員長
家庭教育や教育環境、キャリア教育に関する事項を担当 親を学び伝える学習プログラムの普及



広 報 実 技 研 修 会

6月4日(日) 熊野小学校体育館 共催/富山県PTA連合会



宮本勝浩氏



徳光典子氏



6月4日(日)、熊野小学校体育館にて広報実技研修会が行われました。
 第一部は富山県小・中学校PTA広報紙コンクールにて3年連続最優秀賞を受賞されている福野小学校父母と教師の会の広報委員 宮本勝浩氏よりPTA広報紙作成のポイントやノウハウの事など教えていただきました。
 第二部はフォトグラファターの徳光典子氏に写真を撮るコツを教えてくださいました。
 グループ毎に撮影したりディスプレイしたりと皆さん、和気あいあいと楽しみながら講義をうけていました。
 173名もの方々に参加していただき大盛況の講習会でした。

会 長 情 報 交 換 会

6月25日(日) ホテルグランテラス富山



水上雅博氏

PTA会長のネットワークも広がりより魅力のあるPTA活動に繋がるとも意義のある交換会でした。

各小、中学校PTA会長が参加し意見交換、情報交換などを行い交流する、会長情報交換会が開催されました。
 第一全体会では富山親学びスーパリーダー 水上雅博氏を講師に親学びを行いました。
 各グループにわかれざつくらんに意見交換をし、それぞれの意見に耳を傾けていました。

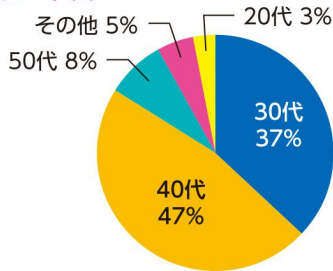


なんだろう？

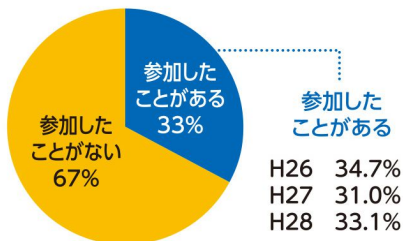


参加者アンケート結果

Q2 年代



Q4 あなたはこれまで「親学びプログラム」の講座に参加したことがありますか？



H26 34.7%
H27 31.0%
H28 33.1%

Q7 今後どのような内容があればよいですか？

- スマホ・ネットトラブル ●ルール作り ●いじめ
- 友達とのトラブル、付き合い方 ●親子のかかわり
- 思春期・反抗期の子供へのかかわり ●家庭学習
- 兄弟げんかへのかかわり方 等

Q8 感想やご意見があれば、書いてください。

- いろいろな方の話が聞けてよかった。とても勉強になった。
- 悩みが解消されたわけではないが、みんな同じような悩みをもっていて、自分だけではないことが分かり、安心した。
- 子育てしながら客観的に自分の子育てを振り返ることができた。
- 普段話したことなかった方とも話げできた。 等

(複数回答/1500人中)

不安や悩みが幾分か解消される点 340人	子供への理解が深まる点 275人	PTA活動の充実につながる点 82人
自分の社会性や道徳性について振り返ることができる点 155人	学校とPTAが協力して活動する点 126人	学校や社会での子供の課題に親としてかかわっていく必要を感じることができる点 79人
親の話し合いにより子供たちのいじめを未然に防ぐことができる点 56人	学校や教員への理解が深まる点 76人	その他 9人

Q3

誰に依頼すればいいの？

保護者の方々は、ご自分の学校のPTA会長や校長先生・教頭先生に「親学びやりましょう!」と声を掛けて下さい。多くのPTA会長は富山市P連の研修で親学びを体験されています。用意するものは、会場、5~6人掛けテーブル数台、エピソードと記入欄の入ったプリント、筆記用具、これだけです。全体の進行役が必要ですが、負担に思われる場合は、富山市P連を通じて講師を派遣致します。親学びを企画される担当者様は、富山市P連事務局 TEL (076) 411-7901へご連絡ください。ご存知の方は家庭教育委員、親学び推進リーダーでも結構です。ご連絡があれば詳細をお知らせ致します。



Q4

現状はどうなの？

学校ごとに、親学びの活動状況はさまざまなのが現状です。学校行事として必須ではありませんので声を上げなければ始まりません。親学びを実施するタイミングとしては、就学時健康診断、新入生説明会、授業参観後の懇談会、ブロック会議の一部、役員会のあと、PTA教育講演会の一環としてなどなど、保護者の集まる学校行事は年に数回あります。そのタイミングを先取りして計画を立てるのが実施するポイントです。



Q5

市P連が考える親学びとは？(推進の仕方など)

小中学校ごとまたは校区ブロックの中で、自由な形で実施していただく親学びを目指しています。そのためには各中学校区ブロックから推薦されている親学び推進リーダーの活躍が不可欠と考えています。富山市P連では、平成28年度から家庭教育委員会を立ち上げました。今年度は推進リーダーの方々に親学びの企画運営ノウハウの指南や進行役の研修を計画しています。推進リーダーを通して普及活動を本格化させていきたいと考えています。

Q1 親学びとはなに？ (講演会とは違うの?)

親学びとは、「親を学び伝える学習プログラム」の略称です。多くの親が普通に直面する子育てのエピソードについて、互いに意見を出し合うことで、子育ての喜びや悩みを親同士が共有し、支え合うことを目的としています。ですから、ためになるお話を聞く講演会とは異なり、当事者である親が、みずから参加して思いを発するグループワークです。家庭はすべての教育の出発点です。「子供に幸せになってもらいたい」そう思うからこそ私たち親は迷い、悩んでいます。でも、その感情を誰かに話せる機会はどれだけあるでしょうか。



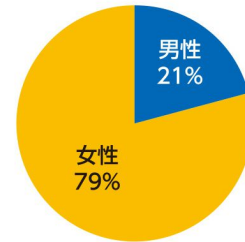
Q2 親学びをするとどうなるの？

まず心がスッキリします。自分が迷い悩んでいる感情を、明るい雰囲気ですることができるからです。親としての自信がついたり、孤独から開放されます。親のあり方や子育ては誰にも当てはまるたったひとつの答えというものはありません。グループワークを通して、「悩んでいるのは私だけじゃない。みんな同じなんだ」との共感と「そんなふうに考えられたら子育てはもっと楽しくなるよね」など新たな発見がきっとあるでしょう。親の笑顔は、子供にも連鎖します。親一人一人の笑顔が増えれば、子供は人生に希望を持てると信じます。

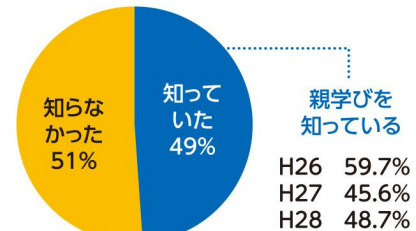


平成28年度「親学び講座」

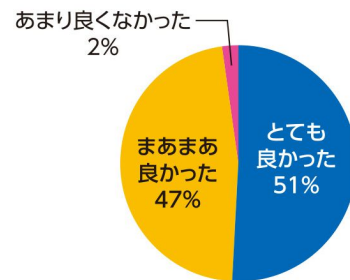
Q1 性別



Q3 あなたはこれまで「親学びプログラム」を知っていましたか？



Q5 「親学びプログラム」の講座に参加されてどうでしたか？



Q6 「親学びプログラム」の講座のよい点は、何だと思えますか？

いろいろな意見や考えを聞くことができる点
1493人

自分の子育てを振り返ることができる点
711人

子供へのかかわり方の参考になる点
997人

いろいろな人と知り合うことができる点
628人



こ っ こ と や っ て ま す !!

ほんもの体験事業

保内小学校



6月24日(土)、毎年行っている「ほんもの体験事業」として、今年度はプロのけん玉師である伊藤佑介さんをお招きしました。伊藤さんはアマチュア時代には通算10度のけん玉全日本大会優勝を果たし、2つのギネス記録を樹立した海外でも活躍する世界初のプロけん玉師です。

音楽やけん玉の音と融合した圧倒的なパフォーマンスを目の当たりにし、子供たちのみならず先生や保護者の方々もすぐにけん玉の世界に引き込まれていました。

その後子供たち1人1人が実際にけん玉を持ち、いくつかの技を教えていただきました。最後は誰が一番失敗せずに技を決め続けられるか、競争することに。失敗した子も成功した子も、とても生き生きとした姿が印象的でした。



「学校を花でかざろうプロジェクト!!」 「親子造形丼」

熊野小学校



5月1日(月)の創立記念日に富山村田製作所社員皆様のご協力のもと、学校を花でかざろうプロジェクト!!「親子造形丼」をおこないました。

今年度、耐震補強工事が始まり、工事で殺伐とする学校を花で飾り、少しでも華やかにしたいと思い計画しました。富山村田製作所社員皆様より花の苗340株を寄贈して頂き社員皆様、全校児童、保護者とプラントナーに植え飾りました。プラントナーの中には児童が絵を描いたプラントナーもあり、とても華やかになりました。地域、学校、保護者がコミュニケーションを図る楽しい活動でした。



四季防災館見学

上条小学校



6月4日(日)、一年生の親子活動として、四季防災館を見学しました。いろいろな災害を身をもって体験することで、命を守るためにどうしたらよいかを親子で考える機会になりました。



13歳の学び15歳の選択

呉羽中学校



15歳の選択

13歳の学び

「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」は県内全ての中学校で取り組んでいますが、呉羽中学校では「夢に向かってステップ・ワン! 『13歳の学び』」夢をつかめ! 『15歳の選択』と、キャリア教育の視点に立った教育活動を2009年から実施しています。

『13歳の学び』では様々な職種の方を講師に招き、その方々の話を聞いて興味と関心を深めてもらうというものです。講師は総勢27名! 職種は、薬剤師、美容師、パティシエ、プロ野球選手、公務員、アナウンサーなど様々な職種の方をPTAの人脈を通じて集めたものであり、活躍中真っ只中、講師から仕事の厳しさ、やりがい等の講義を受けます。

『15歳の選択』では、少し前まで中学生だった近い先輩の大学生に、これまでの経験、夢について語ってもらい進路選択のアドバイスを受けます。

これらのキャリア教育を通し、地域の一員としての自覚と誇りを持ち、夢に向かって外の世界に羽ばたくことを願っています。

おやじの会の発足について

新保小学校

近年児童数の減少による各小学校の合併や統合により、PTA組織作りとして活動の困難さが懸念されています。また時代の変化に伴い、PTAに加入しないなどの任意加入の盲点をつく動きが残念ながら見受けられるところもあります。

新保小学校では児童数では大体ある人数で保っており、PTA組織作りとして維持は保っています。しかし、当小学校の児童の活動資金の捻出の幅が限界に達しており、児童たちへより良い環境をもたらしたいため、資源回収の強化案ができました。

そこで資源回収強化案として、男性数の増員、出先回収の増車と男性の役員の数が増えようと考えています。現状の役員増はどうか考えてもこれ以上考えにくく、そこで親進会というPTA団体ではなく親進会をサポートする「おやじの会」が提案され発足いたしました。おやじの会は規約は作成したものあくまでサポートという位置づけのため、なるべく拘束性をもたないような団体に作り直しました。

会長職は一応受けましたが、名簿等も簡単なラインやメール等までとし、PTA活動日に参加出来る方が当日参加するというルールにしました。

現在実際PTA事業活動の中で活動したのは、資源回収の補助等、模型飛行機大会の修理班、運動会の後片付けなど幅広く活躍しています。

最初は入つてから参加募集をつのり現在22名登録され、頼もしい限りとなりました。

世の男性、パパも実は何かきっかけの場があれば、自分たちの子供の学校の行事に参加してくれるのだと思いますし、パパ友の交流が広がれば、PTAや地域のみなさんともますますの発展に繋がるものと信じます。



影とギターで楽しさを英語影絵ショー

大久保小学校

講師にジャック・リー・ランダル先生とギター担当の井上さんを招いた英語影絵劇は大盛況で、「ギョウドン」や「ナットウ」などの子供たちに馴染みのある言葉が会場を暖めました。

〇HPに映された影はジャック先生によってスライドされたり揺すぶられたりして、それに合わせて井上さんのギターが効果的に音楽を響かせていました。

大きな影には低い音で、ねずみなどの小さい影には高い音が劇の世界にプラスされました。

ジャック先生の愉快な口調で進められる英語影絵劇は、子供たちの笑い声の絶えない和やかな時間となりました。

「子供たちを感じ取って欲しいことは?」とジャック先生に尋ねてみると、「英語は難しいと思われがちだから、影絵で英語の楽しさを知ってもらえたらいいですね。」と話されました。

今年で三回目となる英語影絵劇ですが、初めて見た一年生からは「おもしろかった!」との元気な声が聞こえてきました。

ジャック先生が帰られる際、下校時の子供たちに囲まれて名前を呼ばれ、ハイタッチをかわしている様子がみられました。

そこからは、子供たちの楽しそうな声で英語が聞こえてきていましたよ。



ギター担当の井上さん



ジャック・リー・ランダル先生

